別 紙 様 式 第 ６ 号

災 害 見 舞 金 支 給 調 査 書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | 自 年 月 日 時至 年 月 日 時 |
| 組合員等記号・番号 |  |
|  |  |
| り災の状況　及びその顛末　 |  |
| り 災 の 程 度 |
|  | 見 積 額 | り災率（％） | 備 考 |
| り 災 前（円） | 損 害（円） |
|  |  |  |  |  |
| 家 財 | 家 具 |  |  |  |  |
| 衣 類 |  |  |  |  |
| そ の 他 |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |
| 認 定 |  標準報酬の月額の ケ 月 分 |
|  |  | 調査年月日 |  年 月 日 |
| 調査担当者職 名 前 |    |
| 調査立会人職 名 前 |    |
|  |  |
| 課 長 | 課長補佐 | 係長 | 主務 | 係 |
|  |  |  |  |  |

備考

 １．「り災状況及びその顛末」欄は写実的に具体的に記入すること。

 ２．り災の程度は「備考」欄には住居の構造を記入すること。

 ３．家財の名称欄は、家具、衣類等主要なものとし、その他はその合計額により記入のこと。

 ４．浸水の程度により、損害の程度を設定する場合は住居と家財を包含して適用し、住居について２階以上の場合は、その階数を備考欄に記入のこと。

 ５．見積額は社会通念による時価とすること。